

やすうら



フラワーフェスティバルの 晴れ舞台!!

練習申し込み先

・藤間 美鳳華 (梶原愛美)
・TEL 090-8710-3067



安浦在住の藤間利鳳(真木)さんと美鳳華(梶原)さんは、日本文化
伝承の為に日本舞踊協会広島支部の要請を受け、安浦町で利鳳会と美鳳
華の会を立上げ、8人の子どもたちに日本舞踊を教えています。

練習は毎週土曜日に、日本舞踊の教えから着付け・礼儀作法まで、みっ
ちりと指導しています。子どもたちの練習成果は、ゴールデンウィーク「フラワーフェスティバルの晴れ舞
台で披露!!」今年で3回目、皆の笑顔がステキです。

古民家



染工房 CAMPANELLA (カンパネラ)

カンパネラは2017年4月、安
登東のジョバンニから分立しオー
プンした多機能事業所です。由来
は、宮沢賢治の代表作「銀河鉄道
の夜」の主人公ジョバンニの友人
カンパネラから名づけました。カン
パネラで活動する6つの工房のうち、今回は染工房を紹介します。

場所は日之浦の築100年以上の古民家を利用。周辺には安浦町の木
ヤマモモをはじめ、クサギ、ビワ、タンポポなど染め物の原材料となる
草木が豊富にあります。これらの天然染料を用いて自然に優しい風合い
の製品を作ること心掛けていますが、同じ染料を使っても必ず同一の
仕上がりになるとは限りません。その辺が難しさであり面白さでもあり
ます。古民家の一室では見学無料で草木染製品の展示もしています。

問合せ 染工房 CAMPANELLA
住所 呉市安浦町安登日之浦 3325
TEL 080-2919-4888
※染体験は随時受付 AM10時～12時の2時間



染色



紅花の種まき

まちづくり活動

先進地視察研修



2月19日(月)～20日(火)の1泊2日で、岡山県の津山市阿
波と美作市東栗倉に地域おこし協力隊の活動を視察に参加
者16名で行きました。

2ヶ所とも、行
政・自治会・協力
隊員が地元の特徴
を活かしなが

ら、
地域の中で暮らしの支えあい、ブランド化による小さな仕事づく
り、都市・農村交流を通じた移住・定住の促進などを進めていま
した。

両地域とも強みを活かし、元気に楽しく暮らしながら活動の情
報発信を行い、ふるさと愛が原動力になっていると感じました。



まちづくり情報誌

た ん と

TANTO

No.35

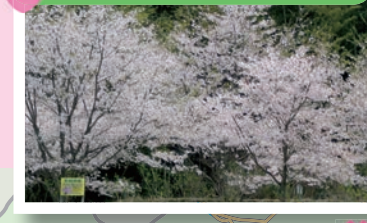
発行 平成30年6月10日

安浦町まちづくり協議会 〒737-2516 呉市安浦町中央 4丁目3-2 (呉市役所安浦市民センター内) 電話: 0823-84-2261 (年4回発行)

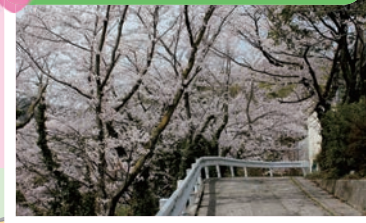
1 市原自治会館裏の土手



10 女子畑



9 旧三津口小



2 野呂川ダム P・WC有り



安浦の桜めぐり

沢山あるぞ!! 花見場所



8 実成新開



3 安登駅 P・WC有り



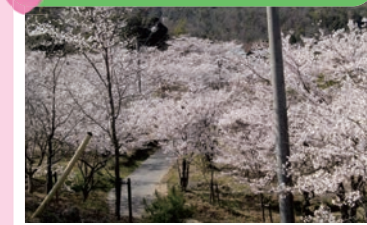
7 稚児公園 P・WC有り



4 安登・善兵衛山 P有り



5 三本松公園 P・WC有り



6 野呂山弘法寺駐車場 P・WC有り



おでかけ情報

6月	おしゃべりサロン	毎週(火・木・金) 10:00～15:00	安登駅前駐輪場 2階
	シアター(映写会)等	6/16 (第3土) 10:00～12:00	安登駅前駐輪場 2階
	健康ウォーキング(内海地区)	6/23 (土) 9:00～12:00	安浦保健出張所集合
	第一回呉藍花摘み体験	6/30 (土) 9:00～12:00	日の浦新開(看板・テントあり) TEL080-2919-4888

7月	おしゃべりサロン	毎週(火・木・金) 10:00～15:00	安登駅前駐輪場 2階
	恋活	7/1 (日) 13:00～17:00	安浦まちづくりセンター(申込み 安浦会館 TEL0823-84-2579)
	ストレッチング教室	7/10 (火) 10:00～11:30	安浦保健出張所
	さわやかクッキング	7/13 (金) 10:00～12:30	安浦保健出張所(参加費 400円)
	シアター(映写会)等	7/21 (第3土) 10:00～12:00	安登駅前駐輪場 2階
	第一回呉藍染め体験	7/28 (土) 9:00～12:00	豆ナ茶屋(参加費 ¥1000) 詳細は TEL080-2919-4888 確認

8月	おしゃべりサロン	毎週(火・木・金) 10:00～15:00	安登駅前駐輪場 2階
	ストレッチング教室	8/7 (火) 10:00～11:30	安浦保健出張所
	さわやかクッキング	8/10 (金) 10:00～12:30	安浦保健出張所(参加費 400円)
	シアター(映写会)等	8/18 (第3土) 10:00～12:00	安登駅前駐輪場 2階
	わくわく夏祭り	8/18 (土) 17:00～20:00	安浦会館(藤三の南隣)

9月	おしゃべりサロン	毎週(火・木・金) 10:00～15:00	安登駅前駐輪場 2階
	ストレッチング教室	9/11 (火) 10:00～11:30	安浦保健出張所
	さわやかクッキング	9/14 (金) 10:00～12:30	安浦保健出張所(参加費 400円)
	シアター(映写会)等	9/15 (第3土) 10:00～12:00	安登駅前駐輪場 2階

やすうら 記憶遺産

山本譲翁の残した 350 枚の風物画でたどる
安浦・暮らしの記憶

稲がぐんと伸びる初夏の風景です。村の子どもたちが短冊をつるした笹竹を持ち、列をなしています。「実盛（さねもり）送ったありー」と口々に唱え、田を巡り、最後は村境の川に笹竹を流します。〈虫送り〉、西日本では〈実盛送り〉と呼ばれた稲作儀礼です。稲の害虫を村外へ追い払う行事を描いています。実盛とは平安時代の



「虫送り（大正初期）」1976（昭和 51）年 7 月 5 日／自身の体験をもとに制作したものと推測

武将の名です。合戦で、稲の株につまずき体勢を崩し敵に討たれたため、その死に際「稲の虫になり恨み晴らす」と呪いの言葉を残したと言伝えられています。

西日本では、ウンカという害虫が特に恐れられていました。稲が、風も吹いてないのにぱったりと倒れ枯れるのです。この稲の虫こそ実盛の呪い、と人々は信じたのです。1732年、ウンカがもたらした日本史上最大の飢饉が、享保の大飢饉です。安浦ではその年、安登、中切、三津口の各村で実盛送りを行ったと記録されています。虫の大発生は人知の及ばぬ霊的な力によるものと考え、自然の脅威に村総出のまじないで対抗するしか術のなかった時代、稲の無事を願う切実な行事でした。

明治・大正の世になって科学や農学研究が進み、農薬が登場します。農薬を含む科学知識の普及と共に、村々から虫送りの行事は姿を消していきました。

季節・旬な情報

小学校にユルキャラが出来たー!!

安登小学校 アトラ君

安登小のキャッチコピー～ワンランクアップの未来を創る、「あくティブとライ!!」をテーマに、全校児童が考えて誕生したのがアトラ君です。特徴は両耳とおでこにATO、頭にふるさとの山「野呂山」がのっています。



安浦小学校 カキアマ王子

6年生が安浦の良さを発信するため、有名な特産物の「カキ」とおいしさの秘密である「アマモ」に着目して考えた「カキアマ王子」です。このユルキャラを使って、安浦を盛り上げようと頑張っています。



中畦商店

呉市安浦町内海南 1 丁目 9 - 39 TEL 84 - 2128

店舗



初代 中畦 武夫氏



2代目 中畦 弘氏夫妻

中畦商店は昭和15年4月、初代中畦武夫氏が金物店として創業。内海地区の横町商店街に開業し、ときのホームセンター的役割を果たしてきました。

2代目弘氏となった昭和30年代からは、進物やLPG販売、平成3年には住宅設備工事にと業務拡張。

さらに近年は、水廻り全般をコンピューター制御する「カスタムPC・システム」の販売および修理業務にと幅広く展開。

「今日まで、多くの地域の方々に支えて頂きました。これからも地域に貢献する事業をめざして。」と弘氏。

さらに、お客様の水廻りリフォームの「困った・・・どうしよう」から「リフォームしてよかった。」と喜んで頂けるように、今後の抱負を語っていました。

写真でみる今と昔

安浦アーカイブ

時代とともに様変わりする景色や人々の暮らし。懐かしい風景をご覧ください。

内海北2丁目



昭和32年の写真、昔は茶道筋が安浦～黒瀬間のメイン道路であり、ボンネットバスが走っていた。



今は県道34号線が亀山神社側に移され、当時の賑やかさは無くなった。車の通行量も減り静かな住宅街に変わった。

安登西（旧向野原）地区



昭和40年代前半の写真、団地や工場が進出する前は静かな寒村であり、山の中腹まで耕された段々畑があった。



周囲に郊外型の団地が次々と造成され、中心部には工場が建設された。人口も飛躍的に増えたが、現在は団地にも高齢化が進んでいる。